

もしもマニュアル 大雨編

「もしも」のための「いつも」の備え

6月～10月は、梅雨前線や台風活動が活発になる時期です。過去には市内でも、局地的な大雨や、台風による浸水の被害が発生しました。今号では、大雨による被害を防ぎ、命を守るために個人や各家庭でできること、地域で協力してできることを「もしもマニュアル」としてまとめて紹介します。

固危機管理課 ☎963-9285



▲市の職員が毎月行っている水防パトロールの様子。ポンプなどの施設の状況を日頃からチェックし、大雨の際に正常に稼働するよう努めています

「自助」「共助」「公助」を意識した防災対策

災害が発生したときに、その被害を少しでも軽減するためには、「自助」「共助」「公助」について、それぞれ知っておくことが大切です。

「自助」は自分自身の命を守るために、個人や家庭でできる備えのことです。天気予報の確認や避難所の確認、非常用持ち出し袋の準備、食料・水・トイレ用品の備蓄などがこれにあたります。

「共助」は自治会や学校区などの顔の見える範囲内における地域コミュニティで災害に備えること、災害発生時に力を合わせることであります。

「公助」は公的機関が行う、人命救助や物資の支給などのことです。災害の規模によっては、公助を開始するまでに3日～1週間程度かかります。

1 洪水ハザードマップを確認しましょう



洪水に対する備えがまとめられています

▽地形を知る：洪水ハザードマップには、河川が大雨によって氾濫した場合に想定される浸水状況を示した「浸水想定区域図」が記載されています

す。自分の住んでいる場所や周辺地域で想定される浸水深（浸水の深さ）を確認しておきましょう。

▽避難所の確認：自分の家から近い避難所を確認しておきましょう。また、避難所までの経路を、実際に歩いて確認しておきましょう。経路を確認する際は、地盤が低い場所や過去に浸水した実績のある区域は避けましょう。

洪水ハザードマップは治水課（本庁舎3階）、危機管理課（第二庁舎2階）で配布して

3 天気予報や気象情報を確認しましょう

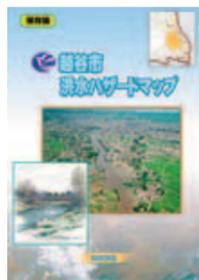
ニュースなどで「気象庁では、〇〇に関する（気象）情報を出して警戒を呼びかけています」という言葉が流れることがあります。これは警報や注意報に先立って注意・警戒を呼びかける「気象情報」です。天気予報や気象情報から台風や雨雲の動きを確認することで、早期に避難準備を



行うことができます。気象情報は市が防災行政無線や越谷cityメールで発信することもあります。「まだ警報は出ていないし…」と油断せず、早めに避難準備ができるように確認しておきましょう。

もしもマニュアル① ふだんからできる大雨への備え

大雨に限らず、災害への一番の対策は「日頃から災害を想定し、備えておく」ことです。いざというときに自分や家族の身を守るために、ふだんからできることを考えてみましょう。



越谷市 洪水ハザードマップ

いるほか、下記の二次元コードからもご覧いただけます。



4 災害情報を配信するサービスを活用しましょう

越谷cityメール 市からのお知らせを配信する越谷cityメールでは、避難情報や避難所の開設情

広報こしがや季刊版ではユニバーサルデザイン(UD)を試行的に導入します

ユニバーサルデザイン(UD)とは、障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰もが利用しやすいように配慮する考え方です。今号の特集「もしもマニュアル」大雨編」では、試行的にユニバーサルデザインフォントを採用し、さらにほかの記事よりも文字を大きくすることで、読みやすさ、分かりやすさを向上させました。

ユニバーサルデザインフォントとは 従来の書体のように正しい画数や字形は保ちつつ、「文字の形が分かりやすいこと」に配慮して制作された書体のことです。また、濁点と半濁点、「3」と「8」などを読みやすくするため、線の間隔も工夫されています。

固広報広聴課 ☎963-9117

明朝

濁点・半濁点が小さい
ぽが 3
空気が小さい

UD 黎^{れい}ミン

濁点・半濁点大きい
ぽが 3
空気が大きい

2 自分の家の設備などを確認しましょう

大雨が発生したときに、自分の家に危険になる設備などがないか確認しておきましょう。

チェックリスト

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていない
- 雨戸にがたつきやゆるみがない
- 側溝や集水口にごみや土砂、落ち葉、ビニール袋が詰まっていない
- 屋根の瓦にひび、割れ、ずれがない。または、トタンのめくれ、はがれ等がない
- ベランダに鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものが出ていない

〈過去のcityメール配信例〉
件名：台風26号に伴う避難所開設のお知らせ

本文：台風26号の影響により、市内各所で道路冠水、床下浸水等が発生しています。以下の施設に避難所を開設しましたので、避難を必要とする方はご利用ください。

なお、風雨が強い状況が続いていますので、自宅で安全に待機できる方は、無理な外出は控えてください。

- ・桜井地区センター（下間久里792-1）
- ・新方地区センター（大吉470-1）
- ・宮本小学校体育館（宮本町5-85）
- ・大間野小学校体育館（大間野町2-115）
- ・富士中学校体育館（七左町2-85）

（平成25年10月16日配信）

報、防災行政無線の放送内容、不審者情報のほかイベントの案内などを配信しています（配信内容は選択できます）。利用には登録が必要です。下記の二次元コードからご登録ください（登録無料、通信料は別途）。



記の二次元コードから市ホームページをご覧ください

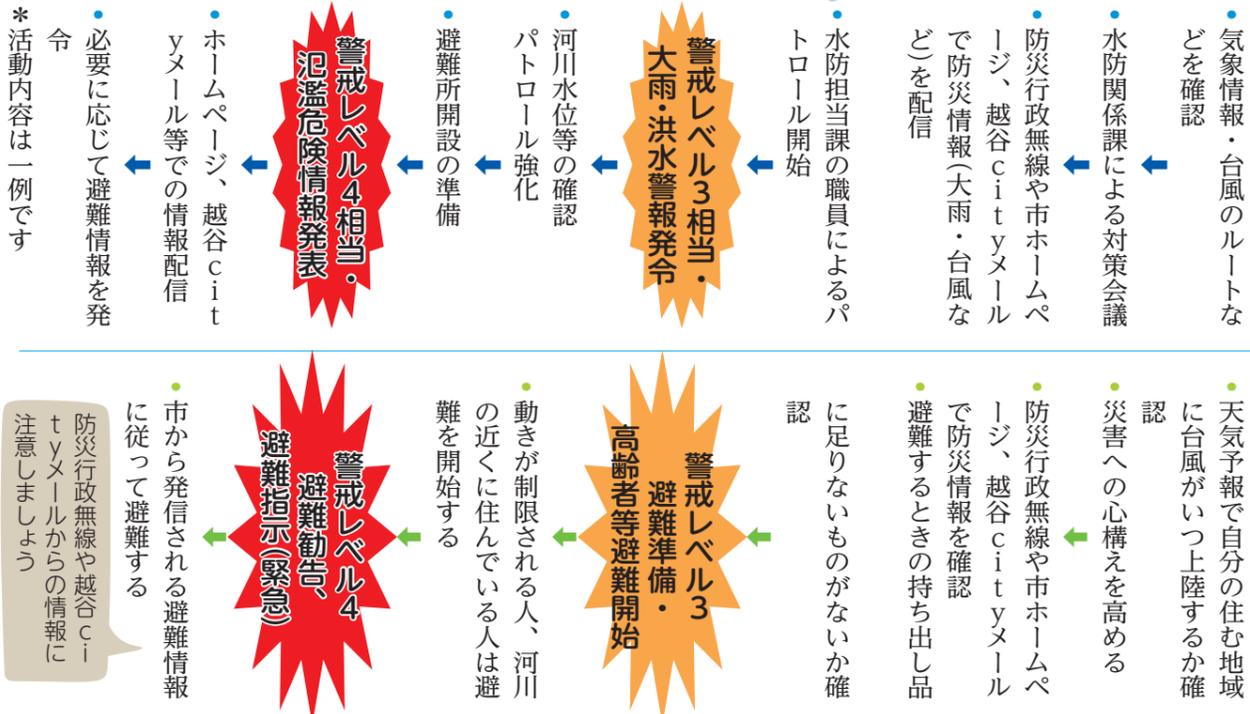


越谷市エリアメール・緊急速報メール 避難勧告や避難指示、河川の氾濫に関する情報などが、

このほか市では、防災行政無線、ツイッターなどを活用し必要に応じて災害情報を配信します。

▼市役所の水防関係課一覧

担当課	連絡先	担当内容
治水課	☎963-9203	河川・排水路に関する事
下水道課	☎963-9206	公共下水道・汚水に関する事
道路総務課	☎963-9201	道路冠水・浸水に関する事
道路建設課	☎963-9202	道路冠水・浸水に関する事
公園緑地課	☎963-9225	倒木に関する事
農業振興課	☎963-9193	農業用水路に関する事
危機管理課	☎963-9285	防災全般に関する事



注意 大雨のときに河川や用水路に近づくことは大変危険です。川や用水路の様子を見に行かないようにしましょう。市ホームページから、各河川の水位をリアルタイムで公開する県ホームページが閲覧できます。

もしもマニュアル②

避難シミュレーション (大雨編)



台風が越谷市を通過すると想定し、避難場所に着くまでの動きと避難するときの注意点を紹介します。

水害の防災情報の伝え方が変わります

従来、市町村が発令している水害の避難勧告等の情報をより分かりやすく伝えるために、今年の6月から下記の表のとおり、内閣府・消防庁が定める5段階の警戒レベルを用いた発令方法に変わりました。

例えば、市ホームページや越谷cityメールのほか、テレビ埼玉のデータ放送等で「〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました」などお知らせします。

災害用伝言ダイヤル 171の活用



災害に備えて、利用方法を事前に確認しておきましょう

NTTが提供する災害用伝言ダイヤルを活用すると、離れている家族の安否確認をすることができます。

災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に利用できる、声の伝言板です。

〈体験利用提供日〉

①毎月1日・15日 ②年始(1月1日～3日) ③防災週間(8月30日～9月5日) ④防災とボランティア週間(1月15日～21日)。時間は①②は終日、③④は午前9時～午後5時

〈使い方〉

①局番なしの「171」へダイヤルする
②流れるガイダンスに沿って、伝言を録音する場合は電話の「1」を、再生する場合は「2」を押す
③連絡を取りたい電話番号を入力し、伝言を吹き込む／再生する

避難するときの注意点

- 市役所から避難情報が発令された場合や消防署から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう
- 火の始末、戸締りを確実に行いましょう
- 避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。裸足や長靴はやめ、履物は、運
- 避難するとき、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。裸足や長靴はやめ、履物は、運
- 道路が冠水している場合、歩ける水の深さは、流れの速さにもよりますが、おおむね男性で70センチ、女性で50センチです。水深がひざ上まである場合は、無理に外に避難しようとせず、2階以上の高いところに垂直避難をしましょう
- 冠水時はマンホールや側溝が危険です。長い棒などを杖がわりにして安全を確認しながら歩きましょう
- 乳幼児、高齢者、妊婦など、動きが制限される人は、早めの避難を心がけましょう
- 暗くなつてからの避難は危険です。夜に大雨が予想されているときは、明るいうちに避難しましょう

また、気象庁等も5段階の警戒レベル相当情報で防災気象情報を発表しますが、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が同時に発令されるわけではありません。防災気象情報を参考にしながら、避難情報を聞き逃さないようにしましょう。

▼警戒レベル別の避難行動と避難情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報※1
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急)※2
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、みずからの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等(気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発表)

*各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります

防災気象情報について

防災気象情報とは、気象庁から発表される大雨、洪水、暴風などに関するさまざまな情報のことです。

越谷市は、埼玉県南東部に該当し、「埼玉県南東部に大雨注意報」「埼玉県南東部に大雨警報」というように発表されるほか、各市町村単位でも発表されます。

市では、気象庁が発表する防災気象情報や、今後の降雨予想、河川の水位状況、警戒レベル等を総合的に判断し、必要に応じて避難情報を発令します。

特集

菅沼さん 次の日も水が引かなかったので、家から出られない世帯に対して、被害に遭

佐野さん 当時は住宅の1階部分が浸水したため、大急ぎで家具などを2階へ避難させた人もいました。



大里東自治会の防災倉庫

助川さん 昭和57年の9月12日のお昼に、大雨が降りまして。それによって近くを流れている新方川が氾濫し、自治会内の一部の住宅が浸水被害を受けました。

関口さん 浸水被害を受けた家は水が引いた後も数日は電気が通りませんでした。また、1階が浸水したために2階か

わなかった人たちに炊き出しをしてもらい、消防署から借りた救助ボートに乗って、洪水の中各世帯におにぎりを配りました。

川村さん 被害のあった地域は、川が近くにあり、土地も低いので、自治会内の希望世帯に土のう袋を配り、自治会館にも常備しています。備蓄品については、各世帯で3日分の備蓄をお願いしています。



▽大里東自治会の皆さん
右から、川村耕治会長、中野悟さん、助川成利さん、佐野栄さん、関口昭さん、菅沼敏夫さん

もしもマニュアル④

地域で行う大雨対策

過去に大雨洪水被害を経験し、現在は地域ぐるみで防災対策を進めている大里東自治会のみなさんにお話を伺いました。



ら出られないご家庭もありました。

中野さん 私は当時、庭にバイクを置いていたのですが、エンジン部分まで水に浸かってしまったため、そのバイクもだめになってしまいました。

—現在、地域ではどのような大雨対策をされていますか。

川村さん 被害のあった地域は、川が近くにあり、土地も低いので、自治会内の希望世帯に土のう袋を配り、自治会館にも常備しています。備蓄品については、各世帯で3日分の備蓄をお願いしています。

助川さん 57年の浸水被害後には、大雨のときに溜まってしまう水を川に排水するため、地区内にポンプが設置されました。

関口さん ポンプができたこともあり、地区内で大雨が降ったときも、以前より被害が抑えられるようになりました。

佐野さん ただ、最近では平成27年度に大雨が降り、床下浸水の被害を受けた家もあるため、行政とも協力して、引き続き大雨対策を考えていく必要があると感じます。



自治会の備品の発電機を点検中

—地域での防災で、大切に感じていることはありますか。

中野さん 過去に被害に遭ったことがある人は、当時のことが強烈に記憶に残っています。逆に被害経験のない人は、ピンと来ないから、地域での避難訓練などにも出てこなかったりします。

地域で活用市の支援

●自主防災組織について
自主防災組織とは、市民の皆さんが自治会ごとに団結して自発的に応急活動を行うための組織です。
市に届け出ている自主防災組織に対しては、防災備蓄倉庫の設置と、備蓄資器材(発電機、ヘルメットなど)、防災資器材(食料、水、トイレなど)の購入や防災訓練等の活動費について、市の予算の範囲内で補助を行っています。詳しくは、左記へお問い合わせください。

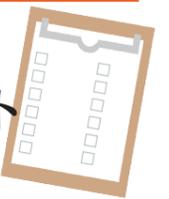
●出張講座
市職員が会場へ赴き、災害への備えや越谷市の防災対策について講義します。対象は市内に在住、在勤、在学の10人以上のグループです。詳しくは、左記へお問い合わせください。

●市民活動支援課 ☎963 963 9153

もしもマニュアル③

持ち出し品チェックリスト

万が一に備えて、家庭では次のようなものをそろえ、定期的にチェックしておきましょう。



非常持ち出し袋の重さの目安は、男性で15kg、女性で10kgです。

非常持ち出し袋

避難する際に持ち出す最小限の必需品を、リュックサックなどに入れた持ちやすい状態で準備しておきましょう。

- 避難用具**
 - 携帯ラジオ
 - 懐中電灯
 - 乾電池
- 貴重品類**
 - 現金
 - 預金通帳、印鑑
 - 健康保険証
- 非常食品**
 - 乾パン、缶詰
 - 栄養補助食品
 - ドライフーズ
 - 飲料水
 - プラスチックまたは紙の皿、コップ
 - 割り箸
- 応急薬品**
 - 缶切り、栓抜き
 - ばんそうこう
 - 傷薬、胃腸薬
 - 目薬、消毒薬
 - 解熱剤
 - 常備薬
- その他の生活用品**
 - 下着、上着、靴下等
 - 軍手、タオル
 - ティッシュペーパー
 - ウェットティッシュ
 - 雨具
 - ビニール袋
 - 生理用品
 - 歯ブラシ

非常備蓄品

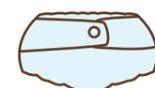
災害復旧までの数日間(最低3日間、推奨1週間)のための備蓄品。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておきましょう。



- 非常食品**
 - 乾パン等
 - 缶詰やレトルトのおかず
 - アルファ米
 - ドライフーズ、インスタント食品
 - チョコレート、あめなど
 - 栄養補助食品
 - 調味料
 - 飲料水 (1日1人3ℓ目安)
- その他生活用品**
 - 生活用水
 - 毛布、寝袋
 - 洗面用具
 - ポリ容器、バケツ
 - 乾電池
 - トイレトペーパー
 - ろうそく
 - LEDランタン
 - ドライシャンプー
 - 新聞紙、ビニールシート(燃料、防寒、敷物、雨よけ)
- ロープ、バール、スコップ
- 布製ガムテープ(整理、止血、ガラスの補修)
- キッチン用ラップ(止血、汚れた皿にかぶせる)
- 自転車
- 卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベ
- 簡易トイレ
- 携帯電話の充電器(電池式)

介護者のいる家庭

- 着替え
- おむつ
- 障害者手帳
- 常備薬
- お薬手帳
- 脱脂綿
- ガーゼ
- サラシ
- T字帯
- 新生児用品
- 母子健康手帳



妊婦のいる家庭

- 粉ミルク
- ほ乳びん
- 離乳食
- スプーン
- おむつ
- バスタオル
- 母子健康手帳



その他、該当者がいる家庭別に用意しておきたいもの